

工 事 写 真 集

設置者： _____ 受付番号： _____

設置場所： 田川市 _____

施工業者： _____ 浄化槽設備士： _____

| | | | | | |
|---------|-----|--------|----------------|------------|------|
| ● 転換該当 | 非該当 | ・ 該当 | (くみ取り便槽 | ・ 単独浄化槽) | |
| ● 上部荷重 | なし | ・ あり | (車両総重量 2 t 以下 | ・ 2 t 超過) | |
| ● 基礎工事 | 現場打 | ・ 既成底版 | ● 支柱工事 | なし | ・ あり |
| ● ポンプ工事 | なし | ・ あり | ● ヒット工事 | なし | ・ あり |

【注意事項】

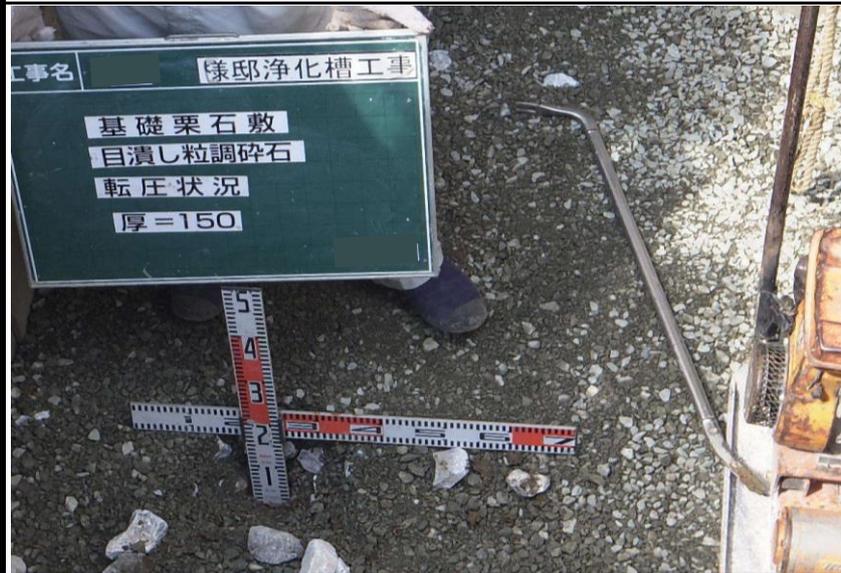
- ① ヘルメットを着用していること。
- ② 写真は、工事進行段階ごとに撮影すること。
- ③ 現地であることが確認できるカメラアングルとすること。
- ④ 1つの写真で確認できない場合は、必ず別に写真を添付すること。
- ⑤ 浄化槽設備士が実地に監督しているか、自らが工事を行っていること。
- ⑥ 写真の様式が不足する場合は、シートをコピーして使用すること。

写真 (1) 【着工前】



- 浄化槽設備士が浄化槽工事業者登録票を持っていること。
- 浄化槽工事業者登録票の記載内容が明瞭に見えること。
- 施工位置及び全景が確認できること。

写真（2） 【地業工事】



- スケールを添え、基礎厚が確認できること。
(碎石、割栗石の場合ともに：基礎厚150mm)
- 十分転圧していることが確認できること。
- 割栗石の場合、目潰し材を充填していることが確認できること。

写真（3） 【底版配筋工事】



【現場打設】

- 底版配筋全景が確認できること。
- スケールを添え、配筋のピッチ200mm以内が明瞭に分かること。
- 鉄筋被り（スペーサー等）が確認できること。
- 上部に車庫等の荷重がかかる場合は、ダブル筋が確認できること。

【既成底版】

- 添付なし

写真（4-1） 【支柱工事】



【支柱工事あり】

- 全本数（フープ筋含む。）が確認できること。

【支柱工事なし】

- 添付なし

写真（４－２） 【支柱工事】



【支柱工事あり】
 ○スケールを添え、フープ筋ピッチ150mm以内が確認できること。

【支柱工事なし】
 ○添付なし

写真（５） 【基礎コンクリート打設】



【現場打設】
 ○打設中で配筋が確認できること。
 ○型枠が確認できること。
 ○スケールを添え、コンクリート厚100mm（上部荷重は150mm）が確認できること。
 ○スケールの始点が確認できること。

【既成底版】
 ○型式等が確認できること。

写真（６－１） 【基礎コンクリート工事】



○全景が確認できること。
 ○水平器で水平を確認していること。
 （縦・横方向）
 ○受付番号が確認できること。

例．2020年度受付番号10の場合
 『20-10』と表示する。

写真（6-2）【基礎コンクリート工事】



【現場打設】

○コンクリート厚100mm（上部荷重は150mm）が確認できること。

【既成底版】

○添付なし

写真（7）【据付工事】



○浄化槽の型式及び据付機械が確認できること。

○移動式クレーンであることが確認できること。

写真（8-1）【水張り】



○浄化槽設備士が水張りし、水平を確認していること。（縦・横方向）

写真（8-2） 【水張り】



- 水平器の気泡で水平が確認できること。
(縦・横方向)

写真（9） 【漏水試験】



- 漏水試験開始から24時間以上経過後の水位が確認できること。
- 以下に漏水試験の日時と水位を記入すること。

【試験前】

日付： _____ 年 月 日

時間： _____ 時 分

水位： H= _____ mm

【試験後】

日付： _____ 年 月 日

時間： _____ 時 分

水位： H= _____ mm

写真（10-1） 【埋戻工事（一層目）】



- スケール等を置いて、一層目の仕上厚300mmが確認できること。

- 水締めと突き固めを行っていることが確認できること。

- 以下に一層目の仕上厚を記入すること。

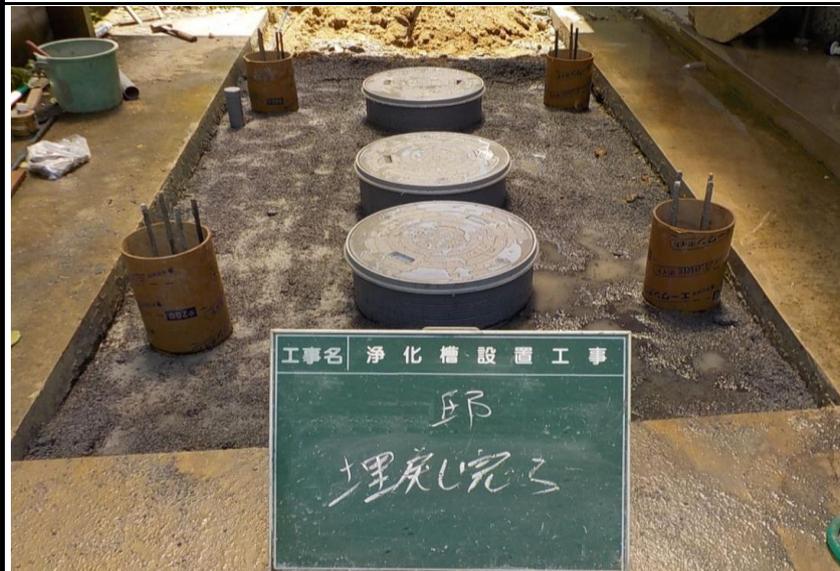
一層目仕上厚： H= _____ mm

写真（10-2）【埋戻し工事（中段）】



○埋戻し途中（600～900mm程度）の状況が確認できること。

写真（10-3）【埋戻し工事（埋戻し完了）】



○埋戻しが完了し、浄化槽の埋設状況が全景的に把握できること。

写真（11）【スラブ配筋工事】



○スラブ配筋全景が確認できること。
○スケールを添え、配筋のピッチ200mm以内が明瞭に分かること。
○鉄筋被り（スペーサー等）が確認できること。
○上部に車庫等の荷重がかかる場合は、ダブル筋が確認できること。

写真 (12) 【スラブコンクリート打設】



- 打設中で配筋が確認できること。
- 周辺のコンクリート舗装と一体の場合以外は、型枠が確認できること。
- スケールを添え、コンクリート厚100mm（上部荷重は150mm）が確認できること。
- スケールの始点を確認できること。

写真 (13) 【スラブコンクリート工事】



- 全景が確認できること。
- 周辺のコンクリート舗装と一体の場合以外は、スラブ厚100mm（上部荷重は150mm）が確認できること。
- 以下にスラブの長さ及び幅を記入すること。

長さ： $L =$ _____ mm
 幅： $W =$ _____ mm

写真 (14) 【嵩上げ状況】



- スケールを添え、嵩上げ高（上限300mm）が確認できること。

写真（15－1）【排水設備工事（升・配管）】



- 升基礎・升据付の状況が確認できること。
- 良質な地盤以外の場合は、既成底版が確認できること。

排水設備工事写真(15-1, 15-2)で全ての升の個数が確認できること。

写真（15－1）【排水設備工事（升・配管）】



- 升基礎・升据付の状況が確認できること。
- 良質な地盤以外の場合は、既成底版が確認できること。

排水設備工事写真(15-1, 15-2)で全ての升の個数が確認できること。

写真（15－1）【排水設備工事（升・配管）】



- 升基礎・升据付の状況が確認できること。
- 良質な地盤以外の場合は、既成底版が確認できること。

排水設備工事写真(15-1, 15-2)で全ての升の個数が確認できること。

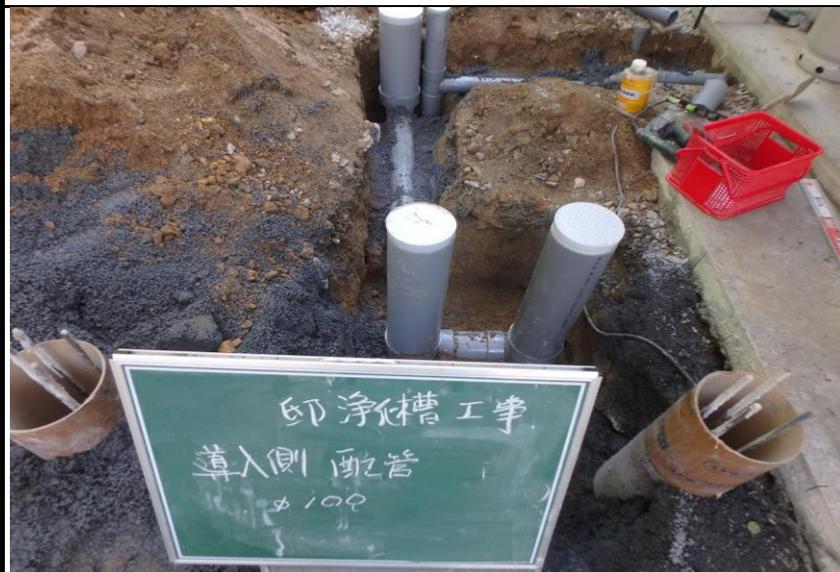
写真（15-2）【排水設備工事（升・配管）】



○配管基礎・配管据付の状況が確認できること。

排水設備工事写真(15-1, 15-2)で全ての升の個数が確認できること。

写真（15-2）【排水設備工事（升・配管）】



○配管基礎・配管据付の状況が確認できること。

排水設備工事写真(15-1, 15-2)で全ての升の個数が確認できること。

写真（15-2）【排水設備工事（升・配管）】



○配管基礎・配管据付の状況が確認できること。

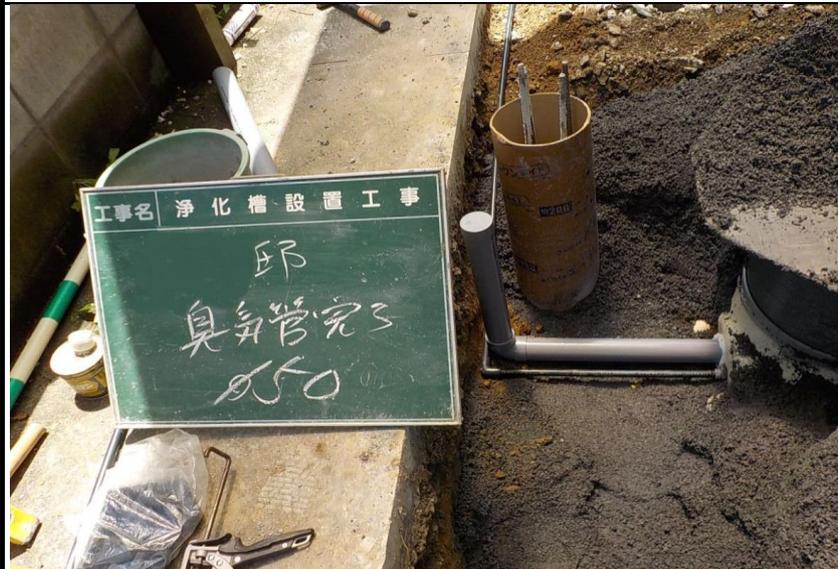
排水設備工事写真(15-1, 15-2)で全ての升の個数が確認できること。

写真 (16) 【放流先状況】



- スケールを添え、放流先との水位差が5cm程度とれていること。
(ただし、困難な場合は、別途協議すること。)

写真 (17) 【臭突管設置工事】



- 臭突管又は横引き管が確認できること。
- 立ち上げ管の設置が困難な場合は、地面まで臭突管を出し、キャップしていることが確認できること。

写真 (18) 【ブロワ設置工事】



- 水平に設置されていることが確認できること。
- ブロワの基礎が地盤より10cm以上高いことが確認できること。
- 接地工事(アース)が必要な場合は、確認できること。

写真 (19) 【竣工】



- 浄化槽設備士が入っていること。
- 浄化槽設置が確認できること。

写真 (20) 【ポンプ工事】



- 【ポンプ工事あり】
- ポンプ槽内を確認できること。
- 【ポンプ工事なし】
- 添付なし

写真 (21) 【ピット工事】



- 【ピット工事あり】
- ピット構造を確認できること。
- ピット内からの排水箇所を確認できること。
- 【ピット工事なし】
- 添付なし

写真 (22) 【その他】

○工事で必要な写真又は指摘
事項写真

写真 (22) 【その他】

○工事で必要な写真又は指摘
事項写真

写真 (22) 【その他】

○工事で必要な写真又は指摘
事項写真

写真（転換－１）【転換工事着工前の設置状況】



- 単独浄化槽からの転換の場合は、上部スラブ等の状況を確認できること。
- くみ取便槽からの転換の場合は、マンホール等の状況を確認できること。

写真（転換－２）【撤去後】



- 既存施設が埋設されていた場所に何も残っていない状況を確認できること。

写真（転換－３）【その他】

- 工事で必要な写真又は指摘事項写真